



柴田 信議員

第6次総合計画における福祉と健康の分野で地域福祉についてと多文化共生社会への対応について

質問 多様化、複雑化した福祉ニーズの増加への対応について問う。

回答 個別の課題については、それぞれの窓口で対応しており、それと並行して多様化、複雑化した課題については、「ふくし総合相談窓口」を令和2年4月に開設

し、対応しています。

質問 地域共生社会体制整備構築事業の内容について問う。

回答 相談支援、地域住民参加支援、地域づくりに向けた支援などを一体的・包括的に実施するものです。

質問 地域活動の担い手について問う。

回答 「ふれあいのまちづくり事業」に補助金を出し、福祉ボランティアの拠点となる福祉ボランティアセンターの設置、また、その活動に必要な知識や技術を身につけるためのボランティア養成講座の開催のほか、福祉体験などを行う小・中学生に対するボランティアスクールの実施など、新たなボランティアの育成にも取り組んでいます。

質問 地域と行政の連携について問う。

回答 要支援者等に対する地域での見守りの強化や関係機関との連携強化によって、行政相談窓口につないでいくことを行っています。

質問 要支援者等に対する地域での見守りの強化や関係機関との連携強化によって、行政相談窓口につないでいくことを行っています。

質問 多文化共生社会への対応に関連して、現在の在留外国人市民に対する新型コロナウイルスワクチン接種の支援について問う。

回答 ワクチンに関する情報提供や接種予約に関する説明を多言語でホームページに掲載しています。また、市民協働課の窓口でワクチン



齊藤 晋一 議員

介護支援ボランティア制度 館林市金券・地域通貨について

質問 介護支援ボランティア制度の概要を伺います。

回答 介護支援ボランティア制度は、館林市金券などに換金できる制度です。

質問 高齢者が介護支援ボランティアの活動、社会参加や地域貢献を行い、自身の健康増進を図っていくことを目的とし、ボランティア活動をを行った65歳以上の高齢者に換金可能なポイントを付与するもので、ポイ

質問 館林市金券のメリット・デメリットは。

回答 市民へ交付する各種補助金や祝金など、現金交付に比べ、一定期間内に経済循環する仕組みとして大変効果があります。登録店舗は、登録店一覧に掲載さ

れるPR効果にメリットを感じている一方で、使用者からは釣銭が出ない、額面500円以下にして使いやすさとの声があります。また、贈答用として好評です。

質問 館林市金券の今後について伺います。

回答 金券の電子化の研究をしていますが、大手企業の提案する電子化は、導入や運用に高額な費用がかかることや高齢者などIT弱者への配慮から電子化に至っていません。市民ニーズ

が増えています。地域社会を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、新たな自治体経営が求められており、地域内に資金が循環する仕組みを考える必要があります。地域通貨の導入意義、メリット、課題等を研究していきます。

質問 金券の電子化の研究をしていますが、大手企業の提案する電子化は、導入や運用に高額な費用がかかることや高齢者などIT弱者への配慮から電子化に至っていません。市民ニーズ

要望 検討や実験的導入、徐々に制度移行することで電子通貨が実現できればと思います。時代の流れに遅れないよう早期に導入の検討をお願いします。

回答 全国的には、行政のデジタル化の側面から電子地域通貨を導入する自治体

が増えています。地域社会を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、新たな自治体経営が求められており、地域内に資金が循環する仕組みを考える必要があります。地域通貨の導入意義、メリット、課題等を研究していきます。